



片岡駅前キャンドルナイト



新春マラソン大会



小中学校生合同の合唱



ニュースポーツ体験コーナー



作品展示コーナー

片岡コミュニティ文化祭

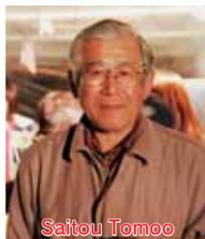


子どもの生活リズム向上推進事業
「生糸で遊んでみませんか！」

片岡地区子ども会育成会連絡協議会会長

齋藤 知夫さん

PTAの活動に長年関わってきたので、地域の中で子どもたちの未来に関係することができればいいと思いました。これからも子どもたちがしっかりと自立した自己を持つ大人になっていけるように応援していきたいです。



Saitou Tomoo



Satou Aiko

矢板市婦人会連合会片岡支部長

佐藤 愛子さん

46人の会員の皆さんと楽しく活動をさせていただいています。皆さんと力を合わせてイベントを成功させた時の達成感は格別なものがあります。これからも日々勉強しながら、皆さんとともに成長していきたいと思っています。

片岡地区コミュニティ推進協議会スポレク部長

神長 准一さん

地域の皆さんと一緒に楽しく活動させてもらっています。準備や段取りで大変なこともあります。皆さんが喜んでくれている笑顔を見ると、とてもうれしくなります。これからも皆さんの笑顔に元気をもらいながら、一緒に頑張っていきたいです。



Kaminaga Jinichi

片岡地区コミュニティ推進協議会事務局

鈴木 和子さん

地域の皆さんがイベントなどにとっても協力的で助かっています。私の願いは、ただただ地域の輪が広がっていけばよいと思っています。これからも、皆さんが負担にならないように、そして楽しんでいただけるようにお手伝いをしていきたいです。



Suzuki Kazuko



片岡地区コミュニティ推進協議会事務局(片岡公民館)
矢板市片岡2098-3
☎・FAX(48)0101
*月曜休館

現在のコミュニティ活動は、総務部、スポレク部、生活環境部、文化部の4つの部と「コミュニティ片岡」を発行している広報編集委員会に分かれて活動している。それぞれが積極的な活動を展開し、地域住民の生活に貢献している。そして、その活動の拠点となっているのが、片岡公民館である。県内各地においてこれだけ密接に公民館活動とコミュニティ活動が関係している自治体も珍しいと言われている。そこにもやはり、今

まで培われてきた伝統が息づいている。この会の目的は、「地域住民の自治精神を基として関係諸機関、団体と連携を密にし、住民の自主参加を促し、地域連帯意識を深め、健康で文化的な生活が営めるような地域づくりをすること」としている。この片岡地区に暮らす全住民が参加しているコミュニティ推進協議会。これからは住民ニーズを把握し、さまざまな活動を展開していく予定とのことだ。

03 活力

～地域に根ざすコミュニティ～

■地域を一体に

片岡地区コミュニティ推進協議会の歴史は古い。この地域は、昭和30年頃からの開発により急激に工業化が進み、大小の工場が操業を始めた。それにともない、ベットタウン化も進み年々新興住宅地が増加していった。続々と転入してくる人々。従前からそこに住む人々。同じ地域に住みながらコミュニティレーションも全くないような状況に置かれていたという。そこで相互理解を深め、連帯性を高めるための交流の場としてコミュニティ活動が必要とされた。発足までには、再三にわたる準備会議や先進地視察が行われ、昭和53年4月19日に片岡小学校区を対象に全戸加入の「片岡地区コミュニティ推進協議会」が発会した。さらに昭和55年には、片岡地区の全区域の参加となり、地区総ぐるみの活動が進められた。

■盛んな活動の秘密

同じような問題を抱える自治体も多いため、なぜ片岡地区はこれほどまでコミュニティ活動が盛んなのだろうか。

このコミュニティ活動は、片岡公民館を中心に行われている。片岡公民館について、現在地域に関する文献をいろいろと調べていった時に、分かったことがある。この地区には戦後、公民館がなかった。そこで当時の片岡村青年団組織が中心となり、自分たちの公民館を作り上げていったのだ。その皆さんの思いが残っているため、「公民館を中心にもみんなで集まろう！」という意識は今でも強い。

■三づくり運動

当時の村づくりの目標がある。「三づくり運動」の推進だ。一、人づくり
二、物づくり
三、体づくり

この方針に沿って行われていた積極的なまちづくり活動が、今の盛んなコミュニティ活動の素地となっている。



大谷鏡長書

3 片岡村公民館の村づくり目標